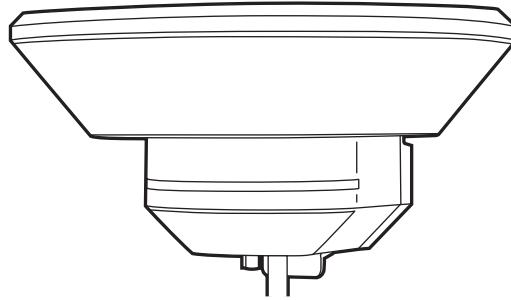


ホームマークライト カーブタイプ

品番
EHL-103AC



お客様へのお願い

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。

本品は強盗、盗難、空巢などの被害を未然に防ぐことを保証するものではありません。万一、被害などが発生しましても当社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

1 安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

- | | |
|--|--|
| <p>警告 この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示します。</p> | <p>注意 この表示の注意事項を守らなかった場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を表示します。</p> |
|--|--|

本機について

警告

- 点灯中や消灯直後は器具に触らないでください。ランプやその周辺が過熱しており、やけどの原因となります。
- また、人が容易に手を触れる事が出来る2m以下の場所には設置しないでください。
- 燃えやすい物や引火しやすい物の近くには設置しないでください。屋でも本体に布団や洗濯物等がかぶさると点灯し引火する恐れがありますのでご注意ください。
- 布や紙など燃えやすいものをかぶせないでください。火災の原因となります。
- 交流100V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因となります。
- 視力を損なう恐れがありますので点灯中のライトを直視しないでください。
- 電源コードを本体等に巻きつけたり、コードを束ねたまま使用しないでください。【火災・感電の原因】
- 電源コードの上に物を載せたり、ステップを打ち込まないでください。【ショート・感電・火災・故障の原因】
- 電源コードが傷んだまま使用しないでください。芯線が露出・断線したまま使用すると火災の恐れがあります。
- 完全防水ではありませんので水に浸したりしないでください。
※防雨構造はIP45電気機械器具の保護等級に適合します。
- 正面から見て本体が地面に対して斜めになったり、逆さまになるような取り付けをしないでください。検知機能に異常をきたすうえ、浸水による故障や漏電の原因となります。また万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。
- 取り付けはこの取扱説明書に従って確実に行ってください。
- 屋外で使用される場合、コンセントは防雨型をご使用ください。コードの延長が必要な場合は、必ず防雨型の延長コードをご使用ください。
- 設置時やお手入れ、点検等の際は必ず電源プラグを抜いてから行ってください。感電事故の原因となります。
- 電源コードの抜き差しは必ずプラグ本体を持って行ってください。【断線による火災の原因】
- 定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でホコリを取り除いてください。また、長期間ご使用されない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
- 異常を感じたときは、速やかにコンセントから電源プラグを抜いてください。煙が出たり、変なにおいがしたままの状態で使用すると火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから、販売店もしくは当社にご相談ください。
- 電源プラグの抜き差しは、濡れた手でを行わないでください。【火災・感電・故障の原因】
- 分解・改造はしないでください。また、指定用途以外での使用や、指定外の取付部品を使用しないでください。

注意

- 温度の高くなるもの(ガス機器やその排気口、エアコン室外機)の近くには取り付けしないでください。
- 本品をベンジンやアルコール、シンナーで拭いたり、殺虫剤を吹きかけないでください。変色、変形、ひび割れの恐れがあるほか、引火、感電の原因となります。
- 不安定な場所に取り付けしないでください。落下などによるけがや火災の原因となります。取り付け後、しっかり固定されているか必ず確認してください。

電池について

警告

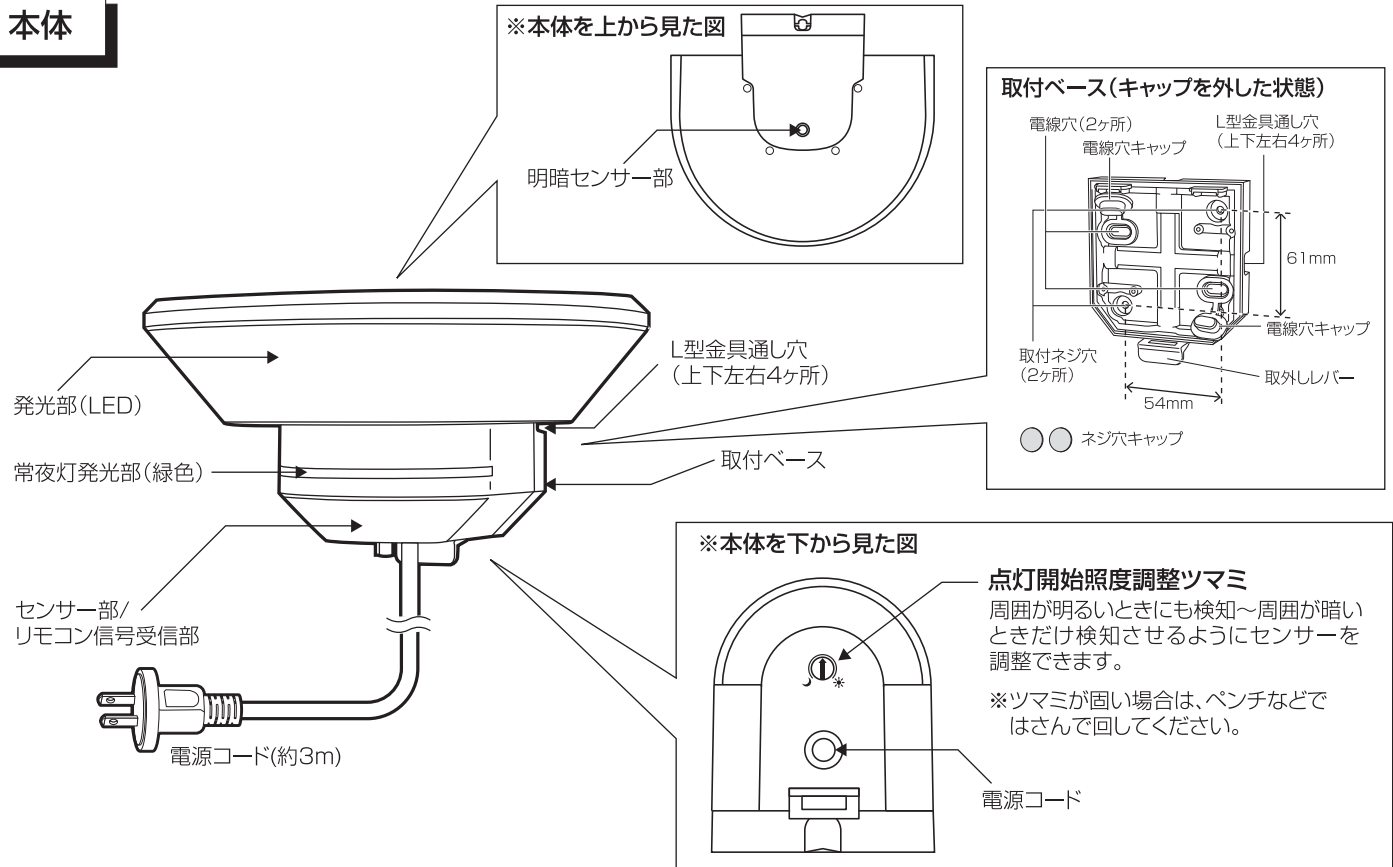
- 電池が液漏れしたときは素手で液にさわらないでください。液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。
- 電池の液が目に入ったときは、こすらずに多量のきれいな水で洗い流し、ただちに医師の治療を受けてください。
- 火中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
- 指定された種類以外の電池は使用しないでください。
- 電池の⊕⊖の方向を表示に従い正しくセットしてください。
- 電池を鍵、クリップ、コインなどの金属類と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 液漏れした電池は使用しないでください。
- 電池は口の中に絶対に入れないでください。
- 電池を飲み込むと危険ですので、乳幼児の手の届かないところに保管してください。万一、電池を飲み込んだ際は、すぐに医師に相談してください。

注意

- 火のそばや直射日光のあたる場所、炎天下の車中など、高温になる場所で使用、保管、放置しないでください。
- 電池を落下させたり、投げつけたり強い衝撃を与えないでください。
- 電池を傷つけたりしないでください。
- 電池の外装に表示されている注意事項もあわせてお読みください。
- 使用済みの電池は環境保全のため、不燃物としてお住まいの地域の所定の方法で処分してください。
- 使用済みの電池は必ず本体から取り出してください。
- 長期間ご使用にならない時は、電池を取り外して保管してください。

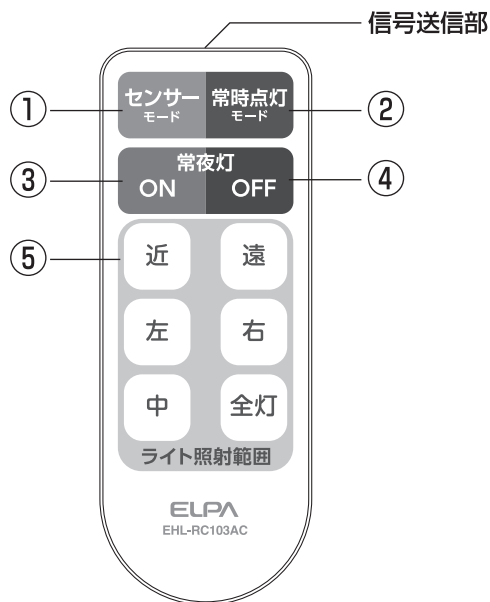
2 各部の名称と付属品

本体



リモコン(電池別売)

型番 EHL-RC103AC



① センサーモード

人感センサーモードと明暗センサーモードの切り替えができます。ライトの点滅でセンサーモードが切り替わったことをお知らせします。

人感センサーモードに切り替え時：ライトが1回点滅
明暗センサーモードに切り替え時：ライトが2回点滅

② 常時点灯モード

センサーや周囲の明るさに関係なく常時点灯します。

③ 常夜灯モードON

常夜灯モードになります。

④ 常夜灯モードOFF

常夜灯モードが解除されます。

⑤ ライト照射範囲切替

照射範囲の切り替えができます。

近：ライトの下部のみ点灯(足元を照らす)

遠：ライトの上部のみ点灯(遠くを照らす)

左：ライトの左側のみ点灯

右：ライトの右側のみ点灯

中：ライトの中央のみ点灯

全灯：ライトの全てが点灯

詳しくは「⑦ リモコンでの設定」を参照してください。

リモコンの紛失時は…

お求めは本品お買い上げの販売店までお問い合わせください。
型番 EHL-RC103AC

付属品

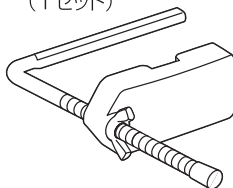
● 取付ネジ(2本)
(φ4×30mm)



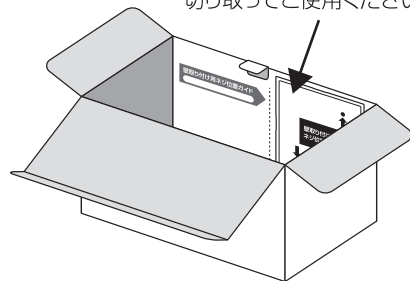
● コンクリート用スリーブ(2本)
(φ6×28.4mm)



● クランプ
(1セット)



● 取付ガイド(1枚) 外箱の内側に記載されていますので、切り取ってご使用ください。




3 まず初めに

本体の設置を行う前に各機能が正しく動作するか動作確認を行ってください。

① 点灯開始照度を「※(昼)」に設定し電源プラグをコンセントに差し込みます。ウォームアップ(初期安定動作)が開始され約10秒間ライトが点灯します。この間ライトは点灯したままになりますので、検知範囲外に離れてお待ちください。

「⑥ 本体での設定」を参照してください。



② 消灯後、検知範囲を横切るように歩きライトが点灯することを確認します。続いて検知範囲外へ移動すると約30秒後にライトが消灯することを確認します。

③ 点灯開始照度を「☾(夜)」に設定し、周囲が明るい場合に点灯しないことを確認します。

<動作確認完了>

正しく動作しない場合は、「⑧ 故障かなと思ったら」を確認し、処置してください。

ウォームアップ(初期安定動作)について

電源プラグをコンセントに差し込んだときは、点灯開始照度の設定に関わらず、約10秒間ライトが点灯します。これはセンサーが安定するまでの初期動作で、故障ではありません。

動作確認の際に、以下の初期設定の通りに点灯することを確認してください。

- 初期(出荷時)の設定
- ・点灯モード: 人感センサーモード
- ・照射範囲: 全灯

4 設置方法

△ 本体の設置を行う前に各機能が正しく動作するか動作確認を行ってください。

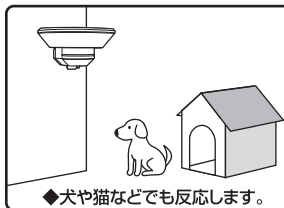
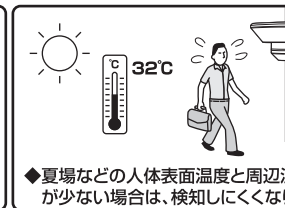
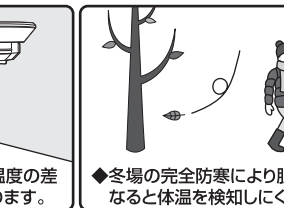

取り付け上のご注意

※センサーは周囲の明るさと温度変化を検知します。

下図のような場所に取り付けると誤動作したり、動作しない場合があります。

 ◆風などで揺れ動く、植物や洗濯物等の近く	 ◆エアコン室外機等の送風を受ける所	 ◆大理石やガラスなど光の反射を強く受ける所	 ◆ガラスや壁越しの所	 ◆街路灯など明かりが近くにある所
 ◆強い振動を受ける所	 ◆電波の強い所	 ◆極端に高い所や低い所	 ◆車の通る道路に面した所	 ◆本体が地面に対して水平にならない場所

センサーの特性上、以下の点にご注意ください。

 ◆犬や猫などでも反応します。	 ◆夏場などの人体表面温度と周辺温度の差が少ない場合は、検知しにくくなります。	 ◆冬場の完全防寒により肌の露出が少なくなると体温を検知しにくくなります。	 ◆センサーに対して直進方向の移動やゆっくりした移動は、検知感が鈍くなります。
--	---	---	--

本体の取付方法

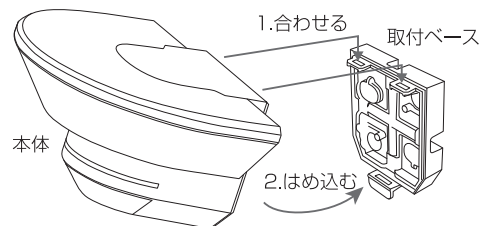
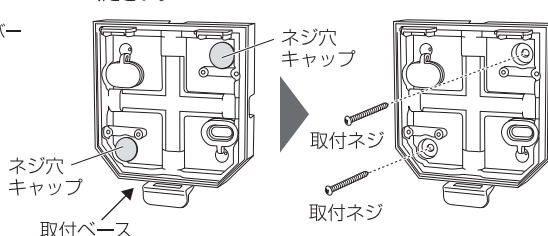
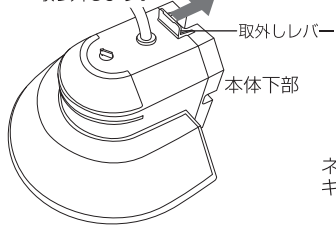
- △ 万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。
- ・本体の設置(取り付け・取り外しなど)により生じた建物等への損傷やその他損害について当社は一切責任を負いかねます。

ネジでの取り付け

① 取付ベースの取外しレバーを矢印の方向に引いて本体から取付ベースを取り外します。

② 取付ベースのネジ穴キャップを外し、付属の取付ネジで固定します。固定後、ネジ穴キャップを付け直してください。

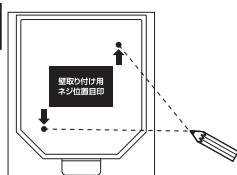
③ 先に本体上部と取付ベースの上部を合わせてから、カチッと音がするまで下部をはめ込みます。



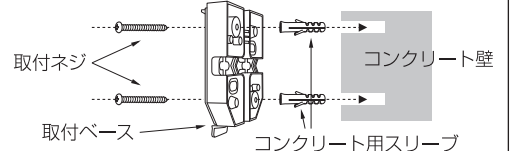
取付ベースに本体を確実に取り付けてください。取付ベースをはめ込む際は指などを挟まないようご注意ください。

コンクリート壁への取り付け

パッケージの取付ガイドを使い取付ベースのネジ位置を決めて目印をつけます。
※取付ガイドはパッケージ外箱の折り込み部分にあります。



あらかじめドリルで直径6mm、深さ28.4mmの穴を開け、そこへ付属のコンクリート用スリーブを打ち込んでから、付属の取付ネジで取付ベースを固定してください。

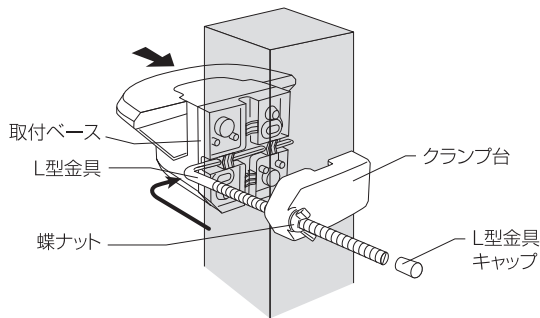


4 設置方法 (つづき)

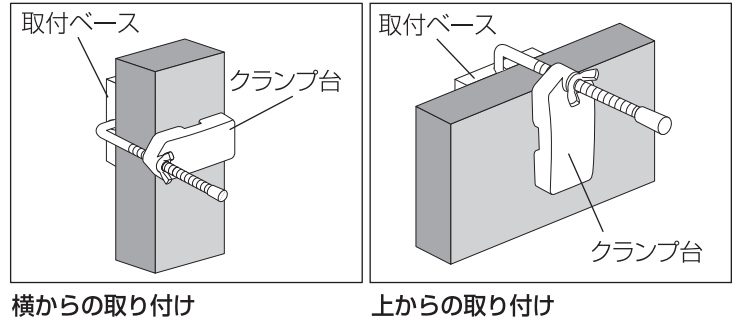
クランプでの取り付け

最小約10mmから最大約100mm幅まで取り付け可能

- ① 取付ベースのL型金具通し穴にL型金具を差し込みます。
- ② L型金具にクランプ台を通し蝶ナットで締め付けます。
- ③ L型金具の余った部分に付属のL型金具キャップをかぶせてください。



■クランプによる取り付け例

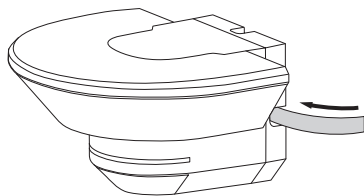


別売ステンレスバンドによる取り付け (弊社型番ESL-SB)

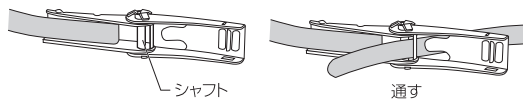
⚠ ステンレスバンドの構造上、一度締め付けるとゆるめることはできません。
※ケガをする恐れがありますので作業用手袋を必ず着用してください。

(直径約260mmまで取り付け可能)

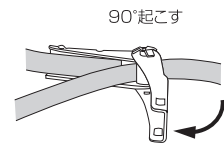
- ① 取付ベースのL型金具通し穴(上下または左右の2ヶ所)にステンレスバンドを通します。



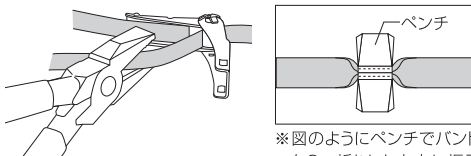
- ② バンドを取付箇所(ポールなど)に巻き付け、先端をシャフトの間(シャフトは2枚構成)に通して、バンドにたるみのない程度に張ります。



- ③ ハンドルを90度起こして仮止めます。

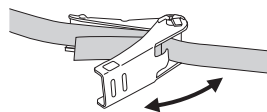


- ④ 仮止めができたなら、バンドの余長をシャフトから3cm程度のところで切断します。バンド先端は外に出ません。



※図のようにペンチでバンドを2つ折りにし左右に振ると、切断しやすくなります。

- ⑤ ハンドルを反復回転させます。(ラチェット機構などでバンドを巻き取る)
※締めすぎると⑥の工程でハンドルが倒せなくなりますので、ご注意ください。



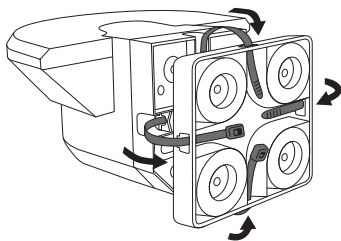
- ⑥ ハンドルをベースに重なるまで倒して、ストッパーにかしめ込んで完了です。



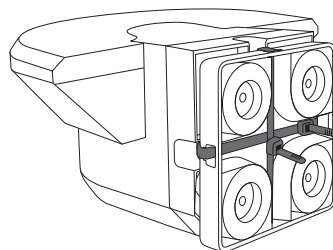
別売マグネットによる取り付け (弊社型番ESL-MG)

※センサーライト用マグネット(弊社型番ESL-MG)(別売)の説明書をご覧ください。

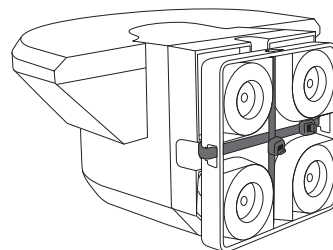
- ① 取付ベースのL型金具通し穴(上下左右の4ヶ所)とマグネットの通し穴に付属の結束バンドを通します。



- ② 結束バンドに緩みがないようにしっかりと締め付けます。



- ③ 結束バンドの余分な部分を切り取ってください。

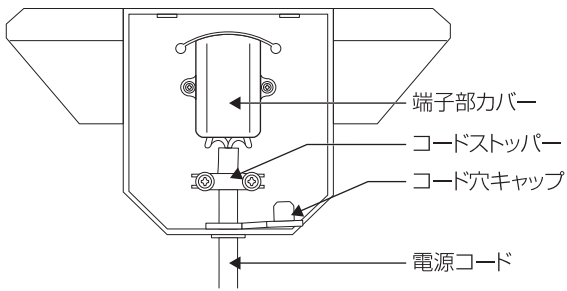


4 設置方法 (つづき)

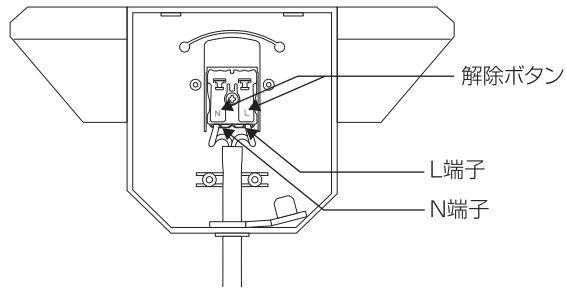
既設配線との直結

⚠ 電源直結工事には電気工事士の資格が必要です。必ず電気工事店に依頼してください。

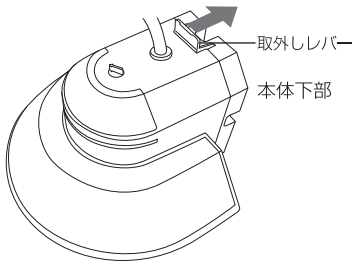
本体背面(取付ベースを取り外した状態)



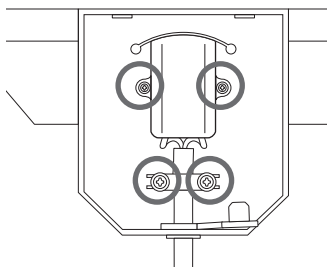
本体背面(端子部カバーとコードストッパーを取り外した状態)



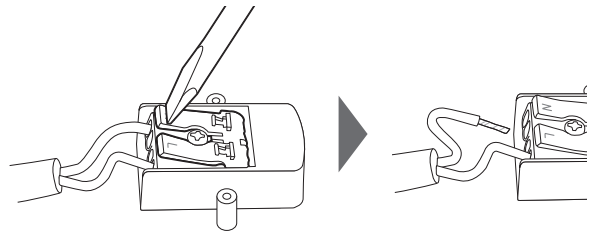
①取付ベースの取外しレバーを矢印の方向に引いて本体から取付ベースを取り外します。



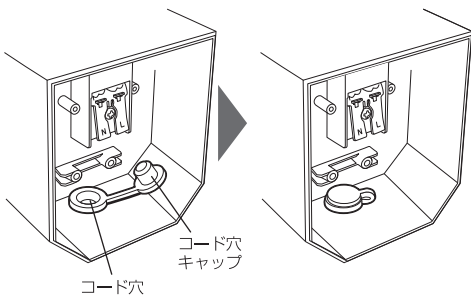
②本体背面の端子部カバーおよびコードストッパーをプラスドライバーで取り外します。



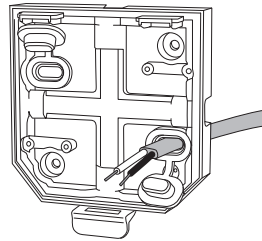
③各端子N、Lの解除ボタンをマイナスドライバーで押しながら、電源コードの電源線を引き抜きます。



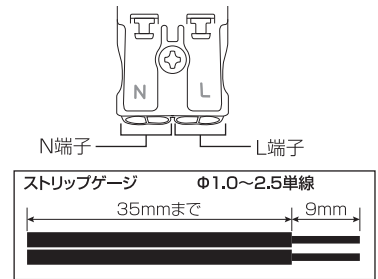
④電源コードを取り外した後は、コード穴キャップでコード穴をふさいでください。



⑤取付ベースの電線穴にAC100V電源線を通し、取付ベースを取付ネジで壁に取り付けます。
※壁への取付方法は「4 設置方法 ネジでの取り付け」を参照してください。



⑥AC100V電源線の白線がN端子に、黒線がL端子に結線されるように、各解除ボタンをマイナスドライバーで押しながら奥まで確実に差し込みます。
※各端子に2つずつ穴がありますが、どちらに差し込んでいただいても構いません。



⑦解除ボタンからマイナスドライバーを離し、AC100V電源線が抜けを確認します。

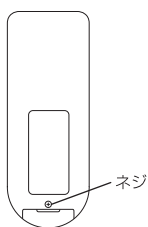
⑧端子部カバーおよびコードストッパーをAC100V電源線の上からプラスドライバーで取り付けます。

⑨壁に取り付けた取付ベースに本体を取り付けます。

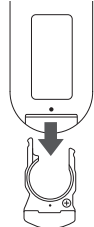
5 リモコンの準備

電池の交換方法

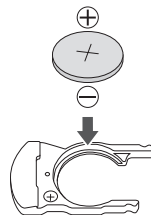
①リモコン背面にあるネジを外します。
※ネジを外す際は、精密プラスドライバーをご使用ください。
※ネジの紛失にご注意ください。



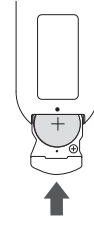
②電池トレイを矢印の方向に引き抜きます。



③新しいコイン形リチウム電池(別売/CR2025×1個)を電池トレイに入れます。
※必ず⊕の面を上に入れてください。



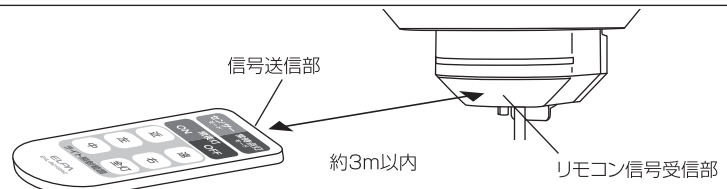
④電池トレイを矢印の方向にカチッと音がるまで差し込み、ネジを取り付けます。



リモコンの動作確認

本体のリモコン信号受信部に向けてボタンを押し、リモコンが正常に動作することを確認ください。

※本体のリモコン信号受信部とリモコンの信号送信部の間に障害物があると操作できない場合があります。障害物を取り除いてご使用ください。



6 本体での設定

点灯開始照度の設定

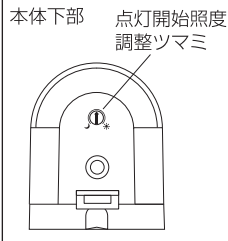
センサーが検知を開始する明るさを設定できます。



※出荷時は[昼]に設定されています。
 ※センサーモード(人感センサーモード/明暗センサーモード)および常夜灯モードについてのみ設定可能です。(常時点灯モード時は設定不可)

[夜]周囲が暗くなってから点灯します。昼間などの明るい時間は点灯しません。

[昼]周囲の明るさに関係なくセンサーが検知すると点灯します。
 ※ツマミを夜と昼の中間に設定すると夕方の薄暗い明るさで点灯します。(細かい設定はできません。)
 ※本体のみの調整です。

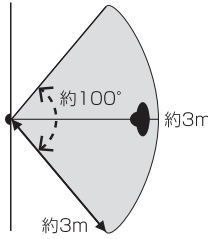


検知範囲について

検知範囲は目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、設置場所などにより大きく変化します。

気温：25℃

【平面図】
 検知範囲を上から見た図



【側面図】
 検知範囲を横から見た図



※本体直下は検知できない場合があります。
 ※検知範囲は、周囲の気温、明るさ、人の体温、服装、移動速度、設置する高さにより大きく変化します。特に夏場など人の体温と周囲の気温の差が少ない場合、冬場など人の肌の露出が少ない場合(防寒具など)は検知しにくくなります。
 ※人以外で熱源となるもの(動物、空調機の風、暖房機の温風など)も検知します。特に強い熱源は検知範囲外でも検知することがあります。
 ※人がいても動かない場合や、移動速度が極端に速い場合、または遅い場合は検知しないことがあります。
 ※センサーに対して直進方向の移動は検知しにくくなります。
 ※以下のような場所に設置すると誤作動の原因となりますので設置場所を変更してください。
 ・風などで揺れる植物やカーテン等の近く
 ・エアコン等の送風を受ける所
 ・光の反射を受ける所
 ・ガラスや壁越しの所
 ・強い振動を受ける所
 ・取付高さが約2.2m以上の所
 ・車の通る道路や人通りの多い所
 ・電波の強い所

7 リモコンでの設定

リモコン操作で点灯モードや照射範囲などの各種設定ができます。

センサーモード・常夜灯モード時は、設定した「点灯開始照度」に合わせて点灯します。
 「点灯開始照度」の調整は本体のみでの設定となります。詳細は「6 本体での設定」をご確認ください。

点灯モードの設定

リモコン操作で点灯モードを設定します。

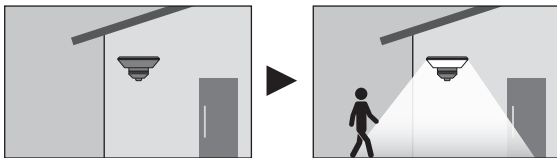
※1つのモードで設定した照射範囲は、別のモードに切り替えた際にも引き継がれます。

センサーモード

人感センサーモード

人が近づくと設定した照射範囲で点灯します。

▶人感センサーモードに切り替わると、ライトが1回点滅します。



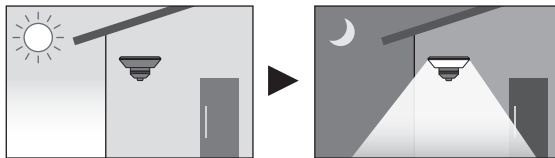
人がいない時は消灯

人が近づくと点灯

明暗センサーモード

周囲が明るい時は消灯し、暗くなると設定した照射範囲で点灯します。

▶明暗センサーモードに切り替わると、ライトが2回点滅します。



明るい時は消灯

暗くなると点灯

※点灯開始照度調整ツマミを「※(昼)」に設定すると、周囲が明るい時も点灯し、常時点灯になります。

常時点灯モード

常時点灯モード

センサーの検知有無や周囲の明るさに関係なく設定した照射範囲で常時点灯します。



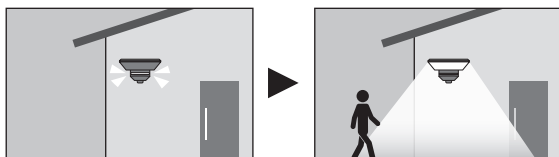
センサー検知有無・周囲の明るさに関係なく点灯

別の点灯モードに切り替えると常時点灯モードは解除

常夜灯 ON OFF

常夜灯モード

ON：緑色常夜灯が点灯し、人が近づくと緑色常夜灯が消灯し設定した照射範囲でライトが昼白色点灯します。
 OFF：常夜灯モードが解除され、切り替え前のモードに戻ります。



緑色常夜灯が点灯

人が近づくと緑色常夜灯が消灯し、昼白色点灯

照射範囲の設定

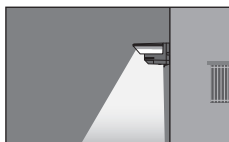
リモコン操作でライトの照射範囲を設定します。

ライト照射範囲

照射範囲切替

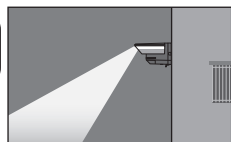
設置場所や用途に合わせて照射範囲切り替えができます。

近



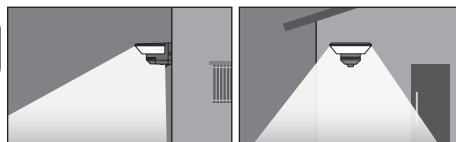
ライトの下部のみ点灯
 (足元を照らす)

遠



ライトの上部のみ点灯
 (遠くを照らす)

全灯



ライトの全てが点灯

左



ライトの左側のみ点灯

中



ライトの中央のみ点灯

右



ライトの右側のみ点灯

8 故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
ライトが点灯しない (センサーが反応しない)	電源が正しく供給されていない。	電源コードの接続およびコンセントの電源供給(ブレーカー)の確認。
	センサーに向かって直進している。 ※センサーの特性上、正面方向から近づいた場合は検知距離が極端に短くなります。	センサーの検知範囲に対して、検知対象(人など)が横切るような場所へ取り付ける。
	周囲が明るい。 (夜でも周囲に他の照明器具がある)	点灯開始照度を「☀(昼)」側に調整する。 他の照明器具の明かりが届かない場所へ取付場所を変更する。
	寒いときや雨降りの中で、人がマフラーや傘などで覆われている。	取付場所を調整する。 ※センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知しにくくなる場合があります。
	夏場など周囲の温度と人体の温度差が少ない。	
	非常にゆっくりとした速度で検知範囲に侵入している。	取付場所を変更する。
	検知範囲が遮られている。 ※ガラスや壁、塀越しには人の動きを検知できません。	
本体が正しく設置されていない。 ・高い位置に設置している ・低い位置に設置している ・傾けて設置している	本体は約2.2mの高さに垂直に設置してください。	
センサー部分が汚れていたり、雨などの水滴が付いたりしていませんか。	水にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。	
ライトが点灯したまま消えない (センサーが反応し続ける)	電源投入直後のウォームアップ時間中。 ※回路を安定動作させるため、電源投入直後はライトが約10秒間点灯したままになります。	ウォームアップ時間が終了するまで、検知範囲の外に出て待機してください。
	何らかの物体がセンサーに反応し続けており、点灯時間が延長されライトが点灯したままになっている。	完全に検知範囲の外に出る。 取付場所を変更する。
人がいないのに点灯する	検知範囲内、または周囲に下記のような誤動作をする要因がある。 (例) 風で揺れるもの(植木、洗濯物、旗など)、犬や猫などの動物、温風や冷風が吹き出すエアコン室外機、ガス給湯器からの熱気、強い無線ノイズ	誤動作要因となっているものを検知範囲内から取り除く。 取付場所を変更する。
	検知範囲が道路にかかっており、通行する自動車や人に反応している。	取付場所を変更する。
	明暗センサーモードになっている。	人感センサーモードに切り替えてください。
	常時点灯モードになっている。	
風や車両の通行等により、本体を取り付けている柱などが振動している。	振動の影響を受けない場所に取付場所を変更する。	
昼間なのにライトが点灯する	点灯開始照度の調整ツマミが「☀(昼)」になっている。	点灯開始照度の設定を「🌙(夜)」側に調整する。
ライトが点滅する (点いたり消えたりを繰り返す)	本体の発光方向に光を反射する障害物がある。 ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。	光を反射する障害物を取り除く。
	センサーモードの切り替えを行った。	センサーモード切り替え時は、切り替わったことをお知らせするため一時的にライトが点滅します。
ライトが点いてもすぐ消える	本体の発光方向に光を反射する障害物がある。 ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。	光を反射する障害物を取り除く。
リモコンが動作しない 正しい動作をしない	電池が消耗していませんか。	新しい電池に交換してください。
	使用可能範囲内ですか。	約3m以内の距離でご使用ください。
	障害物はありませんか。	障害物を取り除いてください。
	本体のリモコン信号受信部またはリモコンの信号送信部が汚れていませんか。	水にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

仕様

■ 本体

品番	EHL-103AC
検知方式	赤外線受動式
電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	約6.8W(待機時 約0.5W)
光源	昼白色LED
全光束	全点灯時 約500lm
点灯保持時間	約30秒(固定) ※点灯中に人を検知すると点灯し続けます。
点灯開始照度	約10lx(夜)~(昼)
保護等級	IP45(防噴流形)
使用周囲温度範囲	-10℃~+40℃
電源コード長	約3m
質量	約830g(電源コード含む)
付属品	取付ネジ 2本(Φ4×30mm)、コンクリート用スリーブ 2本(Φ6×28.4mm)、クランプ 1セット、取付ガイド 1枚

■ リモコン

品番	EHL-RC103AC
使用電池	コイン形リチウム電池 CR2025×1個(別売)
電池寿命	約2年(1日10回使用時) ※電池の性能、使用条件により電池寿命は短くなる場合があります。
動作距離	約3m

※LEDの交換はできません。

※商品の特性上、明るさや光の色にバラつきが出る場合がありますのでご了承ください。

※仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

※製造には万全を期しておりますが、万一不具合のあった場合は良品と交換いたします。それ以外の責はご容赦ください。

外形寸法図

